桑名市立多度学園
たどっ子だより
令和８年９月17日
No.23

30分休みで広がる世界



２学期に入り、日課変更を行いました。大きな変更の１つに火曜日と木曜日の昼休みを「30 分休み」にしたことが挙げられます。１学期より 10 分間の延長となり、たかが 10 分かもしれませんが、ずいぶん休み時間の様子が変化してきている印象です。運動場では、今まで以上に大勢の子どもたちの遊ぶ姿があり、先生も一緒になって遊ぶ姿もありました。クラスで遊ぶ企画も進められ、集団遊びも見られます。また、校内では、図書委員会の生徒が、共有スペースで２年生の子たちを対象に「読み聞かせ」をしていたり、たどっこテラスでは、「たどっこテラスこうりゅうDAY」と銘打って、火曜日は１年生の子たちと８年生の生徒がともに楽しむ姿がありました。とても楽しく走り回る姿、いい笑顔がたくさん見られました。これからも、この時間を有効に使って、クラスや学年の活動、各ステージの異学年交流などの場と時間の保障に繋がっていくことを願っています。



修学旅行英語 DE 発表会～9年生から5年生へ～



「暗記する英語」から「使える英語」へ。英語の学習では、「読む」「書く」「聞く」「話す」の要素がありますが、習った英語を駆使して、相手を意識して「伝える」体験は、これから英語を活用した世の中へ歩んでいく上で、とても大切になってきます。自分の発した英語が相手に伝わった時は、何物にも代えがたい嬉しさがわいてくると思います。先日は、９年生が英語の時間に、同じく英語を教科として初めて学んでいる５年生に向けて、修学旅行で学んだことや楽しかった思い出について英語で伝

える場を作っていました。人前でしかも英語で発表することは、緊張することと思いますが、９年生は堂々と発表し、５年生からの質問にも答えていました。９年生にとっては、「使える英語」を体感したでしょうし、５年生にとっては、流暢に英語で話す先輩の姿に憧れや目標を持つことにもつながったのではと思います。

4・5歳児と一緒に～9年生家庭科「保育体験」～



９年生家庭科の授業では、「保育」を学ぶ単元があり、多度学園から徒歩で移動できるゆい保育園で、園児と交流体験をする機会を得ることができました。９年生の生徒が制作した「手作りおもちゃ」を持参して、ゆい保育園の遊戯室で遊び方を分かりやすく教えたり、できたことをともに喜んだりする場面が随所にあり、とても微笑ましい体験となりました。園児は、９年生生徒の行き帰りを遊戯室の窓にくっついて歓迎送迎してくれていました。９年生が部屋に入ってくるまで、うれしさを抑えきれず部屋を走り回っていました。保育園の先生が合図をすると、さっと整列しお山座りをして静かに待つこともできていました。その姿には感心しました。遊びが始まるまでは、緊張感もありましたが、徐々に打ち解け、９年生は自分の制作したおもちゃで楽しそうに遊んでくれる園児を見て、素敵な笑顔を見せていました。自然に拍手が起きたり、ハイタッチする様子も微笑ましかったです。来年入学する園児にとっても学校が身近に感じることができ、９年生にとっては、自分たちにもこんな時期があったんだと自らの成長も感じる時間になったのではないかと思います。来月も引き続き別クラスが体験する予定です。









8年生職場体験ガイダンス

来月８年生は、地域の事業所等へ赴き、職場体験をさせていただきます。先日はガイダンスとして、体験の目的や意義について学びました。教室の机上では学べない貴重な体験となることでしょう。

